



阿弥陀如来（和口）

和口公会堂地内（龍泉寺跡）に「阿弥陀堂」があります。現在の阿弥陀堂は、平成十一年に旧防災倉庫を移築したものです。中には、木造の「阿弥陀如来」が安置されています。この像は、太田川の氾濫の折りに流れ着いたと言われています。地元の老人の方々がお祭りをされていました。

お堂には、鐘があり、次のような銘が刻まれています。

大日本国遠江州山名郡鎌田御厨下和口之阿弥陀堂
永享九年丁巳十月廿三日

鎌田小大夫高伝

大願主

王阿弥

大工一宮森左衛門

泰光

三郎藤原宗次

性訓

性貞

註：永享九年（一四三七年）

この鐘は、東照宮に所蔵され、のち浜松城本丸庭前石の上に置かれてあったと伝えられていますが、現在は、不明です。